

第四十七師団第二野戦病院部隊略歴

陸軍軍医大尉 山下 太助

年月日	概
昭和五十七年五月	<p>部隊編成</p> <p>部隊編成地並に編成担任部隊</p> <p>弘前市・東部オス十九部隊（山砲兵六四十七師団）</p> <p>部隊編成</p> <p>機員二九九名</p> <p>部隊編成後の主たる戦闘警備状況</p> <p>在内地（弘前）野戦部隊訓練業務</p> <p>中支湖南に向う集中輸送業務</p>

年月日	概
五 一 八	弘前出発
三 三	下関発
〃	釜山陸
〃	釜山出発
〃	滿鮮國境
五 三	滿文國境通過セリ
〃	天津より即隊一部人員（八五カ）コガソリンレ輸送（豆漢口）に備
〃	寸
〃	六時半即は二月十一日行軍により武昌出発
三 五	湖南省湘潭縣湘潭に到着す
〃	此日前二月十七日湖北省咸寧縣汀知橋に於て敵機四機七機の襲撃を
〃	受け戦死五 戦傷一七出せり
三 七	才二半即は三月七日武昌出発
四 五	湘潭到着す

年月日	至 自 至 自	概 要
	<p>自昭三 至四 至五</p> <p>自昭三 至四 至五</p>	<p>病院開設業補</p> <p>湖南省湘潭縣縣斗村今嘉山(湘潭西方約一〇料)に在りて野戦病院開設(才)半部を以て開設(以野逸者多ニ名)</p> <p>湘西作戦参加</p> <p>参加人員病院長以下一九五名、不余リ人員は今嘉山才四十七師団才四野戦病院才二半部勤務</p> <p>四月二十五日今嘉山に出發し、湘郷―永豐―寶慶を経て新化、果下橋田附近に至る</p> <p>五月六日湘鄉界前線―麓橋間に於て行方不明一名</p> <p>自五月二十日</p> <p>至五月二十三日 向新化県落花坪に於て野戦病院を開設し七〇名の戦傷患者を収容す</p>

700 800

0059 0058

年月日	概要
五月二十一日	<p>五月二十一日部隊に於て戦傷者を出せり</p> <p>山東地区に向か前進。輸送業補湘西作戦より直ちに反転し</p> <p>五月二十五日湘潭着。全嘉山四十七師団が四野軍病院を二半部へ</p> <p>残せし人員を増援す。と共に湘潭に患者療養所を開設し之が第一</p> <p>人員を配置し。部隊主力は更に行軍に依り北進す</p> <p>北上中漢口に於て待機命令を受く</p> <p>京漢線湖北省境地。花園附近に於て。若干の新四軍の妨害を受け</p> <p>るも之を排除しつつ北進し。長台洲より列車輸送をより。鄭州</p> <p>新鄭。開封を経て徐州に至る</p> <p>徐州以北は八路軍の鉄路破壊著し。その利が行軍に依り北上。山東</p> <p>省郭東に於て八路軍と戦斗を交へ</p> <p>十一月八日。十日の同戦傷患者三十二名を収容す</p> <p>兗州より列車輸送に依り十二月二日濟南に至る</p>

年月日	概
白 三 一 二	<p>消南附近警備。比、商兵器、往主材料の接収を受け</p>
三 一 五	<p>内地帰還の入り消南出張</p>
三 一 二	<p>青島港出張</p>
三 一 四	<p>佐世保上陸</p>
三 一 八	<p>復員完結</p>

0000 0000

0061 ~~0060~~

その三の五外  
北支 四十三

第四十七師団才四野戦病院部隊略歴

陸軍軍医大尉 小室俊郎

年 月 日	概 要
昭 五 六 五	動員下令 編成開始
六 一 一	編成完結
六 七 二	行動の概要及其の日時
六 七 三	内地に於て訓練
六 七 五	弘前出發
六 七 三	下関港出帆
六 七 三	釜山の上陸
六 七 三	釜山に於て訓練

3000 8000 0062 0061

年月日	概要
昭 和 五 年 一 月 三 日	釜山出發 中支那南省湘潭到着
昭 和 五 年 一 月 二 日	湘西休戦に參加 軌道準備
昭 和 五 年 一 月 二 日	山東地包に向い湘潭出發 德界に到着
昭 和 五 年 一 月 三 日	不後同地附近に警備 兼轄のたりの德界出發
昭 和 五 年 一 月 八 日	濟南着 内地帰還のたりの濟南出發
昭 和 五 年 一 月 二 日	青島出發
昭 和 五 年 一 月 二 日	佐世係に上陸

昭  
和  
五  
年  
一  
月  
二  
日

1550 8100 0063 ~~0062~~

第四十七師團病馬厩卸隊略歴

陸軍獣医大尉 鎌田武利

年 月 日	概 要
五 一 三	動員下令 編成完結
二 一 六	行動の概要
二 一 八	動員完結後十一月二日迄内地に在りて訓練 中支派遣の爲 弘前出発
三 一 三	近輸送業務並 兵器 材料受領
五 一 三	釜山出発
二 一 五	河南省德開に於て病馬又厩舎改 同地出発
四 一 一	湖南省湘潭着同地整備



年月日	
概 要	<p>           湘西作戰參加            山東省濟南附近に師團數連の兵り相率出陣            濟南着、同地警備            復員の力の濟南出陣            青島港出帆            佐世保上陸復員         </p>

第五混成旅団司令部部隊略歴

函杯号 北支派遣司令部二七一部隊

年月日	概略
昭和 三 二 〇	陸支密令四四三号に依り新設部として要員召集内地部隊に於て教育 陸支密令一文字に依り編成下令 編成委員長支那駐屯天津第二聯隊長 天津に於て編成に着手 編成完結（核混成旅団） 旅団長陸軍中將 秦 昭 尚
三 三 三	視察の爲河北省天津出發
三 三 三	濟南着回日より同地附近の警備
四 七 七	膠濟沿線警備の爲南段に發
四 八 八	山東省 泉坊子着 同日より膠濟線黃台駅以東の警備全般並に同地 地且防犯
四 三 三	旅団長更迭

年月日	概 要
西 九 三	<p>新派团长 陸軍少将 秋 山 英 允          視察の爲 山東省龍泉坊子出張          同日山東特別市青島着          同日ハタリ青島市東營東道並ハ魯南道北部の防紅          兵團警備地区ハ膠濟鐵道王村駅次東鉄道並ハ芝罘地区          旅团长更迭</p>
五 三 三	<p>新任旅团长 陸軍少将 関 原 大          ハ十三軍突進力増ハ南方地区討伐参加          旅团长更迭</p>
至 自 天	<p>新任旅团长 陸軍少将 内 田 銀之助          ハ一次勸文礼匪討伐休兵突進          五月一日内閣告不ハ依リ支那軍變地勤務ハ終事</p>
至 自 天 一 五	<p>旅团长更迭</p>

年	月	日	概	要
五	五	八	才十二軍才四次魯中作戰才一期討伐作戰に參加	
五	五	五	才十二軍才四次魯中作戰才二期作戰に參加	
五	四	六	才二次魯東中節節正討伐実施	
五	五	二	才十二軍昭和十八年夏魯中作戰に參加	
五	七	七	十八夏大行作戰に參加	
五	八	七	隨永銘匪鐵威作戰實施	
五	九	九	滿鐵改正日沢不明砲兵工兵兩隊撤属	
五	五	二	十九各魯東南正作戰	

その三の文  
内  
)  
)  
)  
)  
)  
)  
)

0068

至	自	至	自	至	自	至	自	至	自	至	自	年 月 日
三	二	一	三	二	三	五	三	二	三	五	三	二
五	一	三	二	三	五	三	二	三	五	三	二	日
<p>十九秋山東作戦に参加</p> <p>ハルビン東北師団正副隊長</p> <p>衣刺連才十一号作戦に参加</p> <p>新任旅団長 陸軍少将 長野 兼三</p> <p>旅団長更迭（七月十四日発令）</p> <p>菅原諸城日懸泉境地区討伐</p> <p>王尚志匪及陶河柳匪の討伐</p> <p>招樓萊泉境地区討伐</p> <p>菅原諸城附近の討伐</p>												
概												
要												

支隊の支

七支、四十三

8800

0069

代が多力外

代友

四十三

年月日	概
白 三 二	冬季魯東要城域確保作戦
白 一 二	二十春 山東作戦
自 一 三	玉育氏匪討伐
自 二 二	昭和二十年三月甲午十八日に依り編成改正下令
自 四 三	砲兵士兵及至隊部隊を編成
自 五 三	編成完結
自 五 四	秀嶺一号作戦に参加
自 八 四	作戦詔書發布
自 八 五	復員下令
自 九 二	作戦協定締結
自 一 五	青島進駐準備に付し、階級式実施、不後立前指揮下已處下各部隊の

0070

年 日	
概 要	<p>昭一 二 一 五 被獲収開始せり。と共、主力を以て依然青島周辺及膠濟線の警備に担任す</p> <p>二 五 桐岡回武裝解除及被獲収完了。又因復員開始せり。隸下独立歩兵六二十大隊復員、青島港出帆</p> <p>三 五 司令即ち打復員、青島港出帆。残は田島旅團長以下四十七名。付桐岡日隊の残務整理の傍、山東輿地軍管区の復員業務を援助しつゝあり</p> <p>三 六 済南六十三師の青島進出並に又因残務整理完了の海司令即ち残留者中二十九名復員、青島港出帆。残留者旅團長以下十三名にして青島復員部として、輿地軍管区民の復員及引揚業務に従事しつゝあり</p> <p>三 七 右残留者歸還と共に復員完結す</p>

0071

年 月 日	昭 三 二 百
概     要	陸支隊才十之五編成下令 編成地 北支那河北省天津市 編成擔任部隊 支那駐屯軍歩隊才二聯隊 編成完結 即隊行動 天津に於て編成完結

陸支隊才十之五編成下令  
 編成地  
 北支那河北省天津市  
 編成擔任部隊  
 支那駐屯軍歩隊才二聯隊  
 編成完結  
 即隊行動  
 天津に於て編成完結

才十之五編成下令

陸軍少佐 久保 秋 義  
 昭和二十一年二月編製





支 四十三

年月日	概 要
昭 三 四 三	<p>オ一五派団編制改正下令</p> <p>編成完結（編成大愛別紙オ三）</p> <p>山東省東部防犯の爲青島特別市崂山に移駐命令受領</p> <p>崂山到着 同日より同地区に陣地構築並に対米訓練を実施し、</p> <p>周辺に警備を任す</p>
八 五	<p>停戦詔書發布</p> <p>復員下令</p>
九 一 三	<p>停戦協定締結</p> <p>内地帰還の爲青島港出帆</p> <p>佐世保港上陸</p>
三 五 三	<p>編成以来の参加主要作戦（判明せるもののみ）</p> <p>山東省臨沂附近の戦闘（石太山匪討伐作戦）</p> <p>長山東嶺附近の戦闘</p> <p>相公荘附近の戦闘</p>

0074







その三の九 外 社 支 四十三

独立歩兵第十九大隊部隊略歴

年月日	概要
昭和三十四	編成下令（陸支密オ十文号）
昭和三十四	中華民国河北省天津
昭和三十四	及那駐屯軍歩兵オ二聯隊
昭和三十四	昭和三十三年三月二十三日（編成親要別紙オ一ノ如シ）
昭和三十四	部隊行動の概要
昭和三十四	天津に於て編成完結 同日より同地附近の警備
昭和三十四	移駐の爲天津出發
昭和三十四	山東省有南到着
昭和三十四	教育訓練並に有南附近の警備
昭和三十四	膠済沿線警備命令受領

年月日	
<p>純 要</p>	<p>           陸三 四 七            自 三 七            至 三 一            三 二 一            三 三 一            四 三            天 五            八 四            九 二         </p> <p>           初駐の着着前山発、同日青島着            青島一膠果間膠着線並に山東省海陽 萊陽 即墨 膠果附近の警備            大隊本部、青島より即墨に移駐            昭和二十年軍令陸甲オ十八号反陸匪救密オ六十五号に依り、嶺五混成オ五旅団編制改正下令            編成完結（編成大隊別隊オカカ如し）            山東省東部防在の着、青島特別市崂山に移駐命令受領            崂山に到着、同日より同地区に於ける陣地構築、特に針木水溝訓練を実施し、一週間の警備            停戦詔書発布            復員下令            青島特別市即墨行政區即墨に集結            停戦協定締結         </p>

年	月	日	概
昭和	一	一	重慶軍才八軍に対し、兵器與圖、諸面の被接收命令受領
		二	被接收終了、同日青島特別市滄江菓中巷に菓箱
		三	内地帰還の青島港出帆
		四	佐世保港上陸、同日附隊
		五	編成以来の参加主要作戦
		六	旅団秋季才一次討伐作戦
		七	才三回
		八	山東省南部冒険反離隊東北地方地を掃蕩戦
		九	魯南作戦
		一〇	中印魯東道討伐作戦



年月日	事由
昭和十六年三月三十一日	<p>魯東地区高師紙匪討伐作戦</p> <p>才一次吳克華匪討伐作戦</p> <p>姜玄川匪討伐作戦</p> <p>才二次吳克華匪討伐作戦</p> <p>才十二軍魯中作戦（才十号作戦）</p> <p>才二次魯東作戦</p> <p>才一次隨永鎮匪討伐</p> <p>才二次</p>

年月日	概
昭和十七年二月	六十二号、六十三号、魯東作戦
至三月	六十二号、六十三号魯東中初補正討伐
六、四、三	六十八号秋魯西作戦
九、五、二	魯中魯北作戦
一〇、三、九	
五、三、二	山東省第四旅隊王尚志匪及高河獅匪討伐戦
九、五、一	莒嶺諸隊、日照峽々境地区共匪討伐作戦
六、七、四	李赤平部隊急襲討伐
三、三、三	
八、二、二	衣刺共十一号作戦

至		自		至		自		年月日	概	要	
一六	一四	一四	一三	六	五	三	一	一	一	一	
三	三	三	三	四	一	三	三	二	六	再	
陸軍中佐		陸軍中佐		歴代師隊長名		次四十三軍秀續一号作戦		二十春山東作戦		冬季魯東城碯保作戦	
大佐		大佐		独五歩兵才十七大隊				十九秋山東作戦		随水増重織織作戦(山東省萊陽県)	
村出		村出									
源太郎		源太郎									

	二 一七	三 二二	八 二二	天 三	月 日
	茶 水 珠 四 郎	大 尉 丸 橋 章 男	依 健 次 郎	中 佐 山 本 義 雄	続 要

独立混成隊五旅団

独立歩兵隊十八大隊略歴

昭和二十一年三月編  
陸軍大尉 柏崎興三

年月日	概要
昭 三 二 五	陸支隊才十之号 編成下 編成地 北支那河北省天津市 編成担任部隊 支那駐屯軍歩兵隊三聯隊 編成完結
昭 三 三 三	部隊行動の概要
昭 三 三 三	天津に於て編成完結（編成部隊天津才三聯隊）

七の三十一外  
 北 支 四十三

年 月 日	概 要
昭和三十三 年 五月 三十一日	移駐シタリ天津出發 小東省南着
昭和三十三 年 五月 二十五日	附直リ警備
昭和三十三 年 五月 二十三日	泰安
昭和三十三 年 五月 二十一日	南張喉高密附直リ警備
昭和三十三 年 五月 二十日	嶽東萊州に在リ膠済石線警備
昭和三十三 年 五月 十八日	高張喉高密に在リ兵團機動大隊として作樂討伐に従事
昭和三十三 年 五月 十五日	昭和二十一年軍令陸甲第十八号及陸軍機密令之二十五号に依リ成立混成 亦五旅團編制改正下令
昭和三十三 年 五月 十三日	小東省柳防に在リ青島特別市嶗山に在リ海軍命令受領

年月日	概
概	<p>           三 四 三            嶗山着回日より同地にて陣地構築並に対未決戦訓練を実施し、同日            地の警備に任す            三            編成完結（編成大要別紙オシ）            八 四            停戦証書發布            五            復員下令            九 二            停戦協定締結            三 一 三            内地帰還のため青島港に上陸            三 一 三            佐世保港上陸            三 自            編成以来の参加主要作戦一判明せるもののみ            山東省臨朐県臨朐附近の戦斗            二 八            旅団秋季第一次討伐            三 五            〆ニ次リ         </p>

大正三十四年  
 北支 四十三

0000

0087

年	月	日	概	要
三	一	七	山東省大城店溝河子附近の討伐	
三	一	三	高密県北部に於ける大隊討伐	
三	三	三	宿遷附近の掃蕩戦	
三	三	三	安邱県掃蕩戦	
三	一	三	牟莊附近の戦斗	
三	五	三	高密諸城及安邱県内討伐戦	
三	三	三	魯東地区高鏢純匪討伐戦	
三	六	三	山東省高密諸城泉境附近の南正討伐	
三	七	三	魯南地区剿共戦	





年月日	昭 和 四 一
統	<p>昭和一 一 山東省高密縣內諸正討伐</p> <p>昭和一 二 平度掖縣中諸正討伐</p> <p>昭和一 三 昭和一十二年吳克華匪討伐</p> <p>昭和一 四 山東省高密縣境附近諸正討伐</p> <p>昭和一 五 膠縣々境附近諸正討伐</p> <p>昭和一 六 平度縣歷文禮匪討伐</p> <p>昭和一 七 大天山附近地區諸正討伐</p> <p>昭和一 八 山東省掖縣小廟後西前地區討伐</p>

その三の十二分  
支  
四十三



年月日	<p>昭 和 八 年 九 月 二 五 日</p>
概	<p>小東省高梁渠在仰身南正計伐</p> <p>“ 東平湖西方農勸共作集</p> <p>“ 大深山周辺並ハ平南地区共產共産共匪計伐</p> <p>才三次專作集</p> <p>小東省平度渠西部地区計伐</p> <p>“ 在仰管礮地区計伐</p> <p>才十八年度才一次平度渠西部地区計伐</p>
章	

年 月 日	<p>昭 和 三 三 年 四 月 五 日</p>
概 要	<p>小東省平度東南地区討伐          第二次魯東中節肅正討伐          隨縣諸匪織滅作戦          才十三軍十八秋魯西作戦          昭和十八年度秋期管内決産匪討伐          小東省掖県招遥泉境地区討伐          平度南方地区肅正討伐          大茨山周地区肅正討伐</p>





年代日	昭 三 三 三
要	<p>編成完結 北支支隊に於て概五混成方五旅団隷下として編成完結す</p> <p>岩崎の編成 大隊本部 一</p> <p>歩兵中隊 四 (各中隊M9に1Aに有す)</p>

概

要

独立歩兵方十九大隊

(北支支隊方四二七五師隊) 略歴

部隊長官	植田 脩
陸軍大佐	本 繁
中佐	池田 楯
大佐	若山 次郎
大尉	清水 諸代治



年 月 日	概 要
昭 三 三 三 五	<p>濟南に道駐、同附近に警備</p> <p>勝者練青州に移駐、飲道警備及び附近の商正に任ず</p> <p>より山東省安邱県附近討伐に參加</p>
三 三 三	<p>山東臨淄縣益都附近旅團秋期討伐に參加</p>
三 二	<p>昌樂縣附近討伐に參加</p>
三 四	<p>山東省寿光縣下肅正討伐に參加</p>
三 二	<p>兗州宛備並東に伴ひ山東省芝罘に移駐、不來松大なる地域に商度の</p>
三 二	<p>分敷を以て莒山東の警備に任じ、寧日なる管内肅正討伐警備に任く</p>
三 一	<p>孤軍奮斗治定肅正に並大なる成果を著ぐ</p>
三 一	<p>魯中作戦に參加</p>
三 九	<p>魯東作戦に參加三都河に於て大戦果を著ぐ</p>
三 二	<p>未、魯北、魯南作戦に參加</p>
三 一	<p>冬期魯東作戦に參加</p>

年月日	概要
昭 三〇 一 四 三 一 三	<p>             近二十香山東作戦に参加              討米決戦に備へ旅団改編に伴ひ大隊は、芝罘方面に警備を新設し履              兵団に所属し、青島に集結す、改編後の編成              大隊本部 一              歩兵中隊 四              機関銃中隊 一              歩兵砲中隊 一              通信隊 一              青島死守を命ぜり川築城教育に専念中、突然終戦の大詔を拝し、終              戦直後青島外地に一旦集結、尔後膠済線藍村に宿願鎮守警備に任              ず              中国軍に警備を移譲二月十九日乗船青島出帆同日二十三日佐世保に              上陸           </p>

日 月 日	
概  要	<p>           復員完結寸人員補救以下八九之名            参考事項            大隊の勝沼線青州に駐屯當時は事変直行にして治安極めて不良            匪の委動極めて甚況敵直破壊并激烈と極りたるも昼夜に討伐警備            兵田作戦等に依り治安當に向上せり            芝罘駐屯以後は特に治安たる地区に高度分隊を以て警備に任じ長            岡隊行方面部隊にして大作戦に参加の機会少りたるも駐屯地孤立            しあり、大岡隊等の連絡は漸々極路及び空路に依りたり、管内に疎            梁寸の共産軍は猖獗を極りしが南正討伐に相当困難ありたるも多大            の効果を収めたり            大隊編成以来の戦死傷(病)者累計ニ々々名            生在不明者三十一名 入院患者三十一名            内地帰還備三力と有商し復員し又一部部隊の略歴は省略す         </p>

0000

0099

昭和二十一年三月

独立親衛隊第五旅団独立歩兵

隊二十大隊略歴

昭和二十一年三月調製  
陸軍少佐 西村 才可止

年月日	概略
昭 三 二 五	陸支隊才十六号編成下令 北支那 河北省天津市 編成組 編成担任部隊 支那駐屯軍歩兵才二聯隊 編成完結
昭 三 三 三	部隊行動の概要 天津に於て編成完結（編成部隊天津歩兵才二聯隊） 初陣の爲り天津出發

0100

至		自		至		自		昭	年	月	日	概	要
三	二	三	二	一	一	七	四	七	四	三	三		
四	一	三	五	三	五	三	八	七	六	三	三		
<p>山東省渭南着 渭南城内掃蕩戦参加</p> <p>山東省渭南附近の警備</p> <p>高密に在りて膠濟線鐵道及其の沿線地区の警備に任ず</p> <p>孫家口附近の戦いに参加す</p> <p>定川中尉以下十八名戦死す</p> <p>楊陞のたの高粱出発</p> <p>山東省植泉着</p> <p>同提反高里街附近の戦いに参加</p> <p>中印魯東諸王討伐に参加</p> <p>三次魯南剿共作戦に参加</p>													

年月日	概要
昭 一 一 一	東部魯南地区討伐に参加
昭 一 一 一	魯中作戦に参加
昭 一 一 一	第四次魯中作戦に参加
昭 一 一 一	オ 三 〃
昭 一 一 一	諸城栗田家氏邸附近の戦斗 南曹長以下十七名戦死
昭 一 一 一	諸城南方地区の討伐
昭 一 一 一	芝玄川匪討伐並大嶺附近の戦斗
昭 一 一 一	式野作戦に参加

年月日	概
九	衣刺才三十号作戦に参加
六	庄尚志匪並岡河御匪討伐に参加
三	衣刺才十一号作戦に参加
三	山東省沂蒙城の戦斗
二	年一
八	菅原 中西隊急務討伐道講斗
九	岡中尉以下二〇名戦死す
二	才一次諸城辺地区討伐
一	才二次 岡辺地区討伐
五	
四	
六	
三	
天	
三	
三	
三	
九	

年月日	概略
三三三	諸城西方地区討伐
四一五	昭和二十年軍令陸甲オ十八号及陸亜機察オ七十五号に依り核立程及 オ五旅団編成改正下令
五二二	山東省育良着、同日オリ同地区に陣地構築並対米決戦訓練を實施し つつ同地の警備に任す
四三三	編成完結(編成大要別紙 オ二)
八四一	停戦詔書発布
五三三	復員下令
九二二	停戦協定締結
七二七	山東省高察果に初駐し膠着鐵道並其ノ附近の警備
二二五	山東省膠泉附近に初駐し膠着鐵道並に同地附近の警備
一一四	中國軍に依り接收せり此、内地帰還ヲ大リ膠泉出發
三三三	山東省青島港出發
三三三	佐世保港上陸
三三三	復員



